

# 2024年度の主な取組

## 市町村域水道事業(13水道事業)



水道水の安定供給を持続していくため、老朽化が進む水道施設の計画的な更新・耐震化に取り組んでいます。

### 重要施設配水管路の目標設定について教えて！

2024年1月に発生した能登半島地震で上下水道施設に甚大な被害が生じ、復旧が長期化したことを踏まえ、国土交通省から全国の水道事業者や下水道管理者に対し、重要施設※に接続する上下水道管路等の耐震化を推進するための「上下水道耐震化計画」を2025年1月までに策定するよう要請がありました。

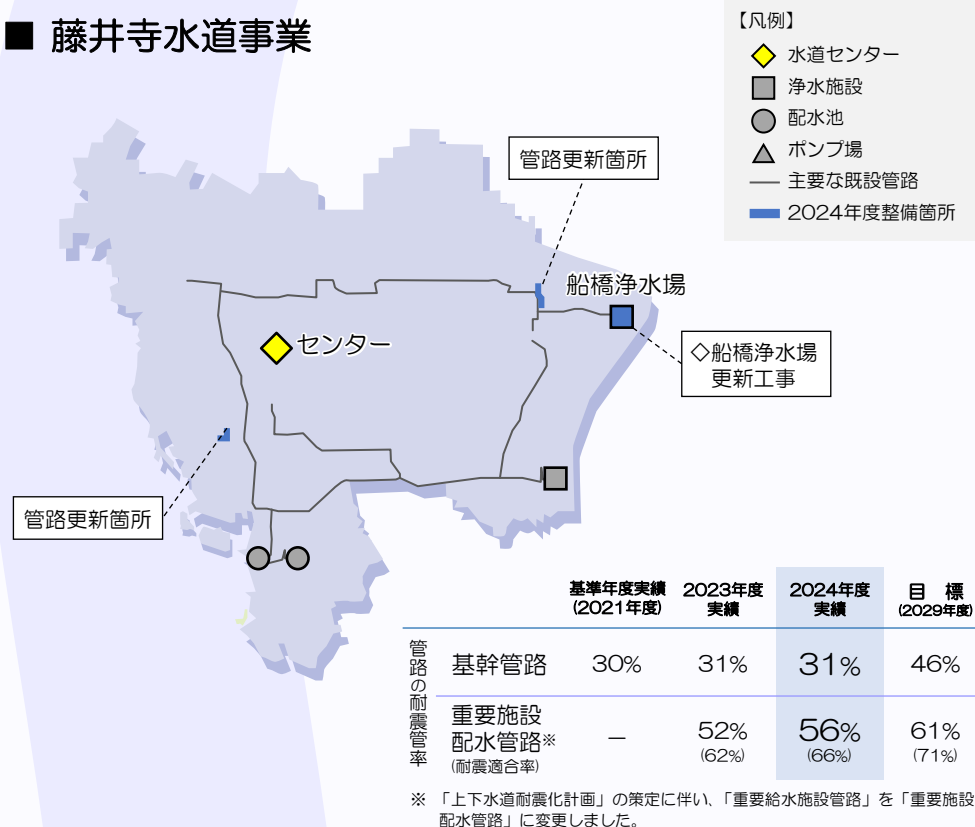
この計画策定に当たり、企業団と統合元団体に協議を行い、対象施設となる重要施設の見直し(地域防災計画とも整合)を行うなど、これらに接続する重要施設配水管路の耐震管率の目標値(2029年度)を設定しました(これにより一部の水道事業で従来の目標値から変更が生じています。)

本アニュアルレポートにおいては、「上下水道耐震化計画」の目標値に対し実績の推移を報告します。

※ 災害時においても給水の重要性が高い医療機関、避難場所、福祉施設、防災拠点等の施設。なお、「上下水道耐震化計画」に合わせて「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しています。



## 藤井寺水道事業



2024年度の執行額は6.1億円で、主な事業は次のとおりです。



### 基幹浄水場の更新

#### ■ 船橋浄水場更新工事

藤井寺市域で使われる水道水の約3割を担う浄水場を2024年度から2028年度にかけて全面的に更新しています。

2024年度  
執行額 137百万円

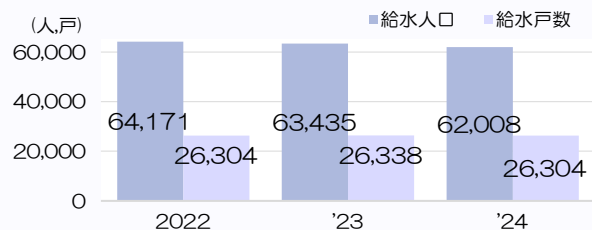
### その他の取組

■ 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は重要施設配水管路である春日丘地区の更新を実施しました。

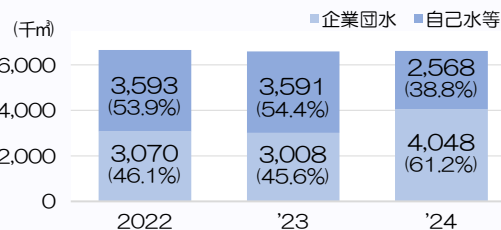
# ■ 藤井寺水道事業

## 給水人口や給水量の推移

給水人口・戸数



企業団水と自己水等の割合



2024年度末の給水人口は62,008人で、前年度と比べて1,427人(2.2%)減少しています。

また、給水戸数は26,304戸で34戸(0.1%)減少しています。

給水量は6,616千m³で、前年度と比べて17千m³(0.3%)増加しています。

船橋浄水場の更新工事に伴い自己水を企業団水に振り替えたことにより、企業団水の割合が前年度と比べて15.6ポイント増加しています。

## 財政収支

(単位：百万円、税抜)

| 収益的収支   | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 収 益     | 1,335     | 1,318    | △ 17      |
| 給水収益    | 1,115     | 1,089    | △ 26      |
| 長期前受金戻入 | 135       | 135      | △ 0       |
| その他収入   | 84        | 93       | 9         |
| 特別利益    | —         | 0        | 0         |
| 費 用     | 1,091     | 1,183    | 91        |
| 維持管理費   | 648       | 722      | 74        |
| 減価償却費等  | 414       | 434      | 20        |
| 支払利息    | 30        | 27       | △ 2       |
| 特別損失    | 0         | 0        | △ 0       |
| 単年度損益   | 243       | 135      | △ 108     |

(単位：百万円、税込)

| 資本的収支  | 2023決算(a) | '24決算(b) | 差引(b)-(a) |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 収 入    | 234       | 389      | 155       |
| 企業債    | 80        | 92       | 12        |
| 国庫補助金等 | 100       | 154      | 54        |
| その他収入  | 54        | 143      | 89        |
| 支 出    | 665       | 821      | 157       |
| 建設改良費  | 510       | 671      | 161       |
| 企業債償還金 | 154       | 150      | △ 4       |
| その他支出  | —         | —        | —         |
| 収支の差額  | △ 430     | △ 432    | △ 2       |

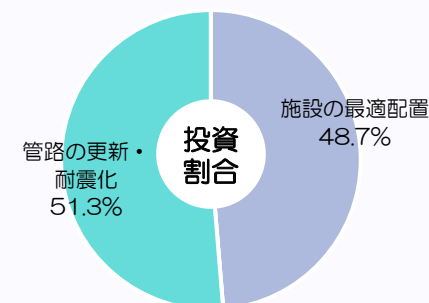
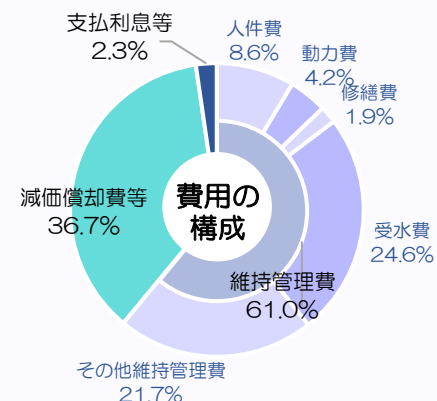
\* 収支の差額については、積立金等で補てん



収益は、有収水量の減少に伴い給水収益が減少したことなどにより、前年度と比べると17百万円減少しました。

費用は、船橋浄水場の更新工事に伴い自己水を企業団水に振り替えたことによる受水費の増加や固定資産除却費の増加などにより、前年度と比べると91百万円増加しました。

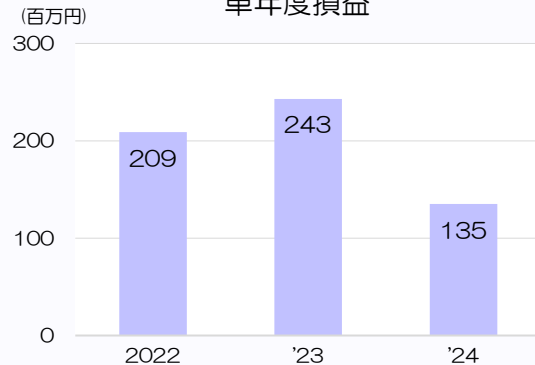
これらの結果、単年度利益は前年度に比べ108百万円減少し、135百万円となりました。



※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

## 財政収支の推移

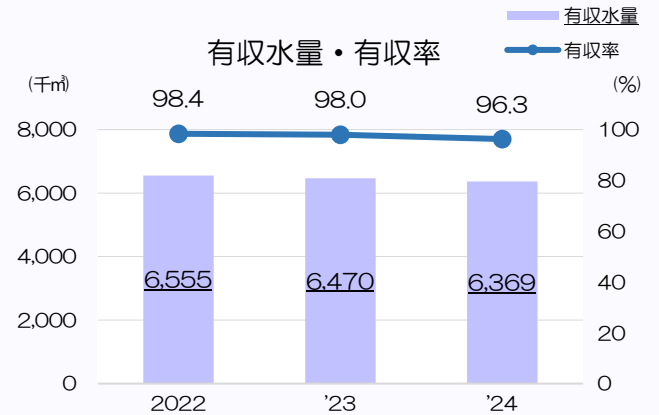
単年度損益



企業債残高



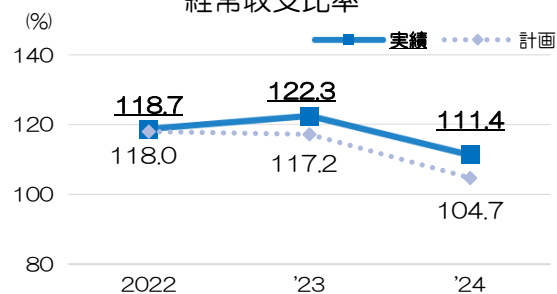
有収水量・有収率



## 主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成

経常収支比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
|      | -    | -   | ○   | ○   | ○   |

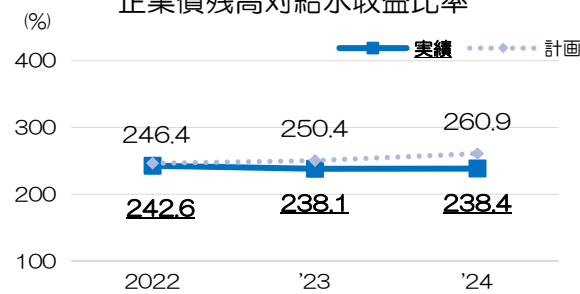
〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

〈2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、10.9ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値109.1%】

企業債残高対給水収益比率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
|      | -    | -   | ○   | ○   | ○   |

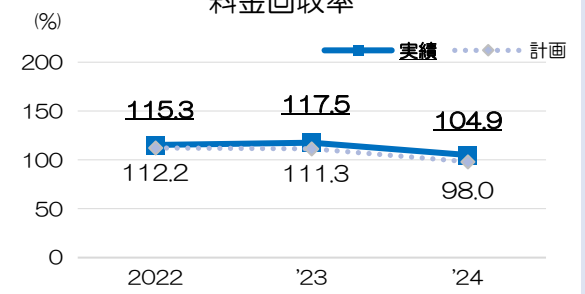
〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、給水収益、企業債残高ともに減少したことから、0.3ポイント増加となっています。

【参考:2023年度類似団体平均値304.0%】

料金回収率



| 達成状況 | 2020 | '21 | '22 | '23 | '24 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
|      | -    | -   | ○   | ○   | ○   |

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

〈2024年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、12.6ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値98.9%】

※ 藤井寺水道事業については、2021年4月に統合したため、経営戦略において2021年度以前の計画値を設定していないことから、2022年度から2024年度までの3か年の推移をお示ししています。